



○ 草の根パートナー型

平成16年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	ヘルスボランティア育成によるヘルスセンターサービス向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	2003年カンボジア保健省より公的ヘルスボランティアが設立された。ヘルスボランティアは人的資源の限られたカンボジアにおいて、地域と保健システムを繋ぎ、地域における保健活動を行うという重要な役割を担う。しかしながらヘルスボランティアを支える体制が整っていないため、ボランティアの活動が出来ていない。当会ではヘルスボランティア活動を運営する体制作りを行い、地域における効率的な保健活動を目指す。
4. 事業の目的	ヘルスボランティアを支える体制が構築され、ヘルスセンタースタッフがその活動を運営することによって、地域におけるヘルスセンターサービスが向上し、地域住民の健康状況が改善される。
5. 対象地域	カンボジア王国コンボンチャム県スレイセントー・コーンミア保健行政区
6. 受益者層	ヘルススタッフ約100人、ヘルスボランティア200名、及び一般住民約15万人
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 当会と郡保健行政局と協働でヘルスボランティア運営の体制作り、トレーニングの計画・実施、モニタリングを行うことによって、郡保健行政局がヘルスボランティア体制の運営管理ができるようになる。</li> <li>• 当会によるヘルスセンタースタッフへの会議運営の指導、ファシリテーション能力の強化によって、ヘルスセンタースタッフがヘルスボランティア活動を運営できる。</li> <li>• 基本的な診療技術の指導、活動計画作成の支援により、ヘルスセンターが基本的な保健サービスを運営できる。</li> <li>• ヘルスボランティアへのトレーニング・フォローアップによって、ヘルスボランティアが地域で保健活動が出来る。</li> </ul>
8. 実施期間	2005年1月～2007年12月（3年間）
9. 事業費	第一年度契約金額：4,246千円（精算金額：4,236千円） 第二年度契約金額：18,366千円
10. 事業の実施体制	カンボジア事務所が実施主体となり、シェア東京事務局、運営委員、アドバイザーグループがサポートを行う。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会
2. 活動内容	アジア・アフリカへ医療専門家を派遣し、プライマリー・ヘルス・ケア、エイズ対策、母子保健、人材育成等のプロジェクトを実施。日本国内では在日外国人のための健康相談等を行っている。